

令和5年北栄町成人式～二十歳の集い～

皆さん、新年あけましておめでとうございます。町長の手嶋です。

本日ここに、令和5年北栄町成人式、二十歳の集いを挙行するにあたり、成人となられた皆様に対し、心からお祝い申し上げます。また、今日まで深い愛情を注いでこられたご家族の皆様、そして恩師の皆さまに対し、敬意を表したいと思います。また、大変お忙しいところ、来賓として、津川議長さんにもおいでいただきました。ありがとうございます。

ご存知の通り、民法の改正により、昨年4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に変わりましたが、本町では、成人式は、これまでどおりの20歳の方を対象にし、名称を成人式、二十歳の集いとして、開催することにしました。また式典も、コロナ禍の継続ということで、感染対策をしっかりとって開催いたします。

昨年は、コロナ禍の継続に加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、北朝鮮の度重なるミサイル発射、円安などで、燃料、物価高騰で不便な生活が続きました。今年もこれらの影響が続くと思いますが、しっかりと前を向いて、それぞれの目標に向かって、一步一步確実に進んでいかなければなりません。

ところで、皆さんが生まれた年の大きなできごとといえば、アジアで初めて行われたサッカーのワールドカップで、日本と韓国による、初の2か国共同開催の年でありました。そして、その20年後、カタールであったサッカーのワールドカップを見て、感動されたかたも多かったと思いますが、日本にとっても思い出の深い年、記念の年に生まれ、また、ブラボーと日本に元気をくれた、そんな年に成人を迎えられたことになります。

さて、成人と未成人の違いは、法律上のこともありますが、私は全ての行動・言動に「責任」が生じてくることだと思います。何かあれば、その責任をとるということだと思います。これはとてもシンプルなことですが、とても難しく重要なことです。常に「責任」がついてくることを自覚した行動をとってほしいと思います。

日本は、世界に例を見ないほどの少子高齢化が進み、人口が減少していています。北栄町も現在、毎年、人口の約1%が減少し、同じような状況になっていきます。このまま人口減少が進めば、産業が衰退し、若い世代の負担も増えてまいります。これまでできていたこともできなくなってしまう。そうならないよう、町では賑わいを創出し、移住定住の推進や子育て支援の充実に取り組んでいるところです。どうか、皆さん、地域が、ふるさとが抱える課題や問題を共有し、皆さんのふるさと北栄町が持続可能なまちとして、発展していくよう、近い将来、一緒に取り組んでいただきますよう、よろしくお願いします。

成人となられた皆さん、今日の感慨を胸に、責任と自覚をもって、活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和5年1月3日

北栄町長 手嶋俊樹